

2023年2月21日実施

森の墓苑の自然再生

～その経緯と企業/個人との関わり～



(公財) 日本生態系協会
佐山義則



公益財団法人

日本生態系協会

政策提言事業・・・OECD国内制度等
勉強会委員

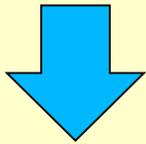
普及・広報事業・・・ビオトープ管理士

調査・研究事業・・・エコジカル・ネットワーク
JHEP認証

ナショナル・トラスト事業・・・森の墓苑
自然保全・再生墓地事業

『森の墓苑』

“50年後に本物の森をつくる”



そのために
必要な費用
を墓地利用
者から頂く



きっかけ)

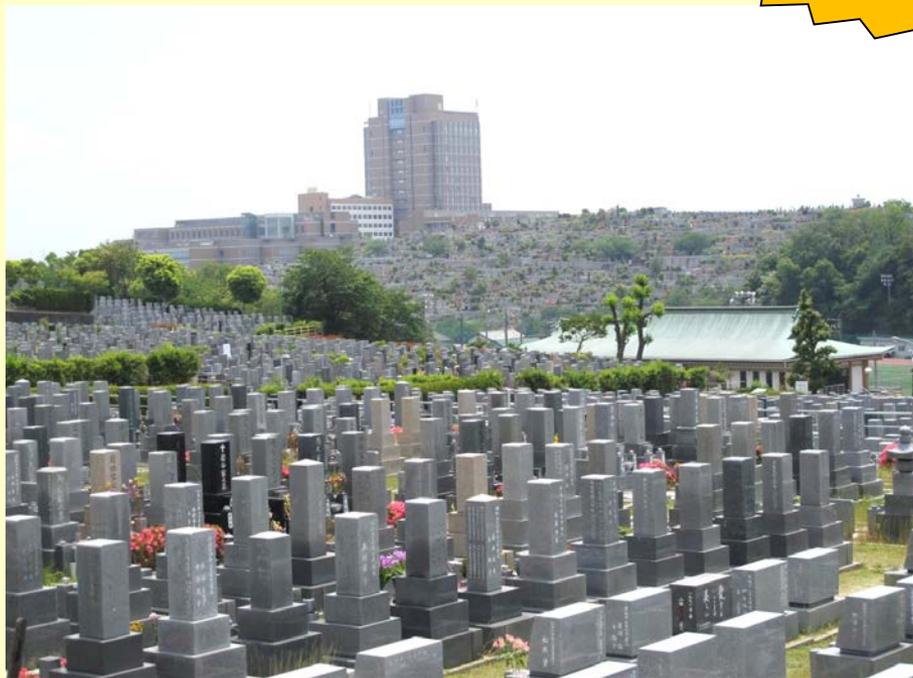
首都圏人口集中の結果、墓地・霊園 開発による自然破壊が進む

環境団体として 解決策の提案

樹木葬ブーム
に乗ったもの
ではない！

狭山丘陵大規模墓地開発 着々と進む開発の手続き...

責任をとれますか



所沢市民の財産である貴重な湿地が失われる

現地は震度5強以上で土砂崩れの恐れあり

許可権者である所沢市長に不許可の英断を求める



墓地計画地：この斜面と斜面山頂を開発予定

「森の墓苑」これまでの経緯

- 2013年12月 トラスト地として取得(約36,000m²)
- 2015年 3月 長南町から墓地経営許可
- 2016年 1月 内閣府から公益事業認定
 - 2月 開苑(1404区画3,500m²の販売開始)
- 2017年10月 第19回「企業と生物多様性セミナー」で報告
- 2020年 4月 体験の機会の場認定/
ちば環境学習応援団登録
- 2022年 2月 ちばSDGsパートナー登録





森の墓苑

植生川

Google

人間の経済活動で破壊された場所を利用 (土砂採掘場跡)





2015.11.24



2016.10.25



2017.11.01



2018.11.01



2019.11.10



2021.07.10

2022.07.26.



動物

両生類	9種
昆虫類	118種
哺乳類	9種
鳥類	33種
爬虫類	8種

植物

木本	29種
草本	85種



コケリンドウ



ホタルカズラ

ネジバナ



カントウタンポポ

オシドリ産卵確認



カヤネズミの巣確認

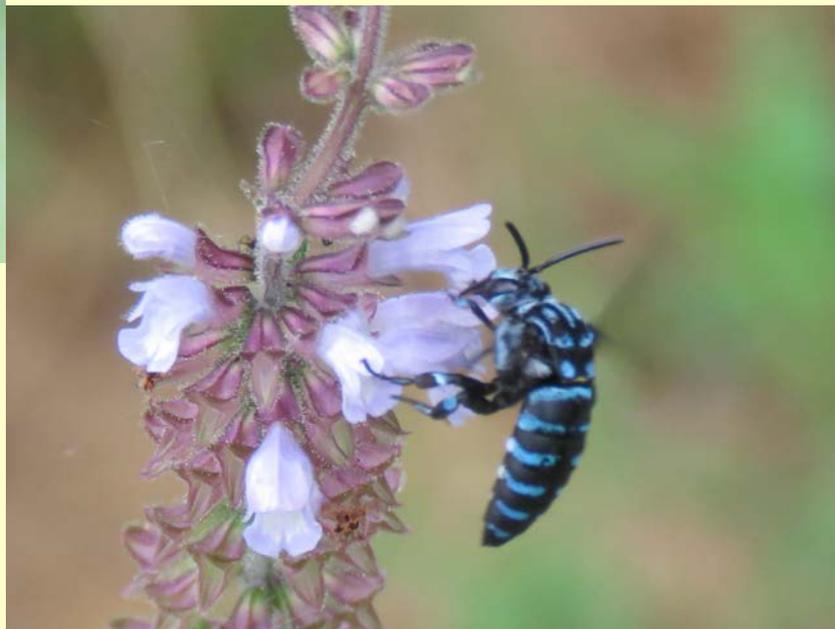
トウキョウサンショウウオ



モリアオガエル



2022年9月 県最重要保護生物の カヤコオロギ確認



ナミルリモンハナバチ

企業との関わり

研修(業務関連)

建設会社、ビオトープ管理士の研修

エコミーティング (社員研修)

2021 / 03 / 19 更新

『森の墓苑』で池の整備をしてきました！

毎年お世話になっている『森の墓苑』で、池の整備をしてきました！

作業内容と目的

1. ヒキガエルのためのビオトープ池整備

(現状) ヒキガエルが生息している苑内ビオトープ池に、今夏の雨の影響で土砂が流入し、産卵環境が損なわれている。

(対策) ①池内に流入した土砂を取り除く
②更なる土砂の流入の防止策を施す(しがら柵工法)

2. ビオトープ池の整備(藻の除去、泥すくい)

(現状) 藻が池一面に繁茂してしまっている。泥が溜まってしまい、池が浅くなってしまっている。

(対策) ①繁茂した藻を取り除く
②泥の掻き出し



研修(社会貢献)

2022年1月11日

JATA社会貢献委員会では、観光と環境の両立の実現に向けて、会員会社とその家族参加のもと、自然を観光資源としている観光地に赴き、自然資源の保全、生物多様性についての意識向上を目的として、外来植物等の駆除活動や清掃美化活動などの環境保全活動を実施しました。

11月26日(金)実施:関東支部活動の様子

	地区/実施日	実施箇所/ご協力団体	活動内容	参加者
1	関東支部	森の墓苑(千葉県長南町)	外来植物の駆除作業/ 在来種の植林等管理作業	20名
	11月26日 (金)	(公財)日本生態系協会		

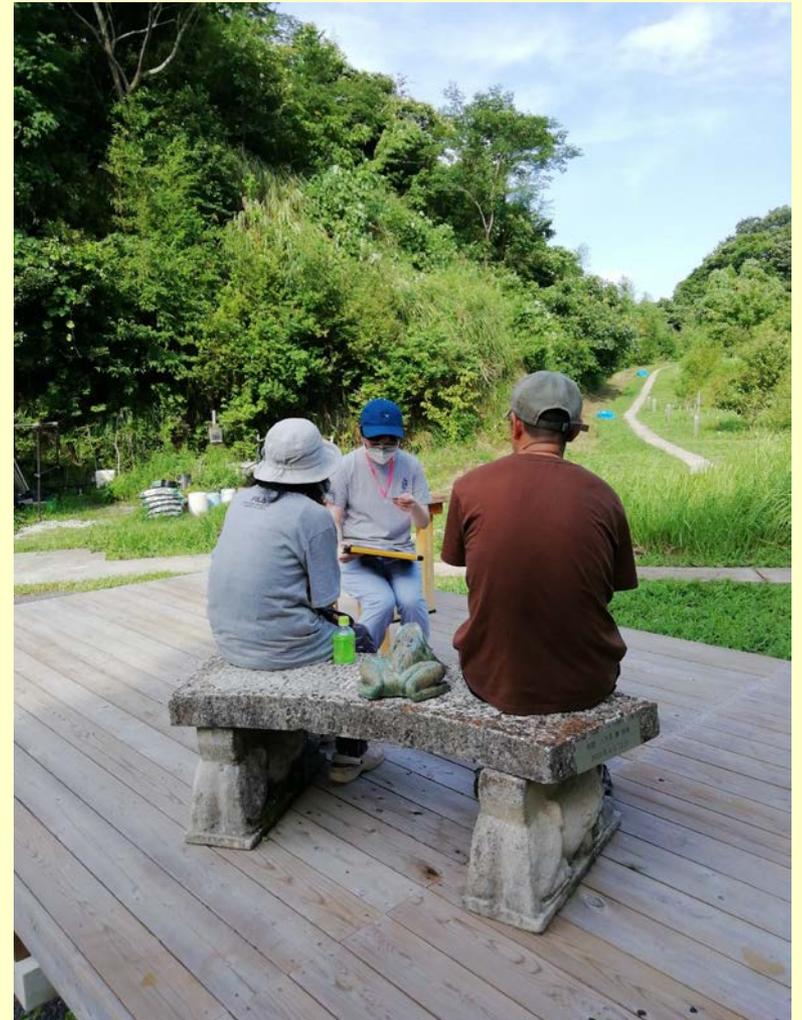


学校との関わり

- ① 実習授業
生物調査
環境整備（鳥の巣箱、
ベンチ製作）



②大学生インターン受入れ、大学院生の研究フィールド提供



③環境教育研修/教員研修受け入れ



個人との関わり

- 植樹草会
今年は4/22(土)
お昼はジビエ弁当



森と草はらの再生プロジェクト★イベント

みんなで育む1本1草、春の幸運の森づくり



植樹草会2022



2022 4/23 日
森の恵み(千原島長崎町)

日本生態系協会



平野貞夫
長南町々長







- ホタル観察会
- 虫聴き会

森の墓苑及び周囲のトラスト地では

- ・自然観察
- ・植樹植草体験
- ・外来植物駆除作業 など

生物多様性保全に関する活動ができます



お問い合わせはメールにて
morinoboen@ecosys.or.jp

ご清聴ありがとうございました